

「第 42 回木と暮らしのふれあい展」への出展

関東森林管理局東京事務所

令和7年10月25日（土）と26日（日）の両日、「第42回木と暮らしのふれあい展」（主催：東京都・（一社）東京都木材団体連合会、後援：東京都緑化推進委員会、協賛：関東森林管理局東京事務所など）が江東区の都立木場公園で開催されました。雨が降るあいにくの天気となりましたが、開会式はテントの中で行われ、ヒノキ製のアルプホルンの音色が奏でられ、主催者の挨拶の後に、小坂林野庁長官が祝辞を述べました。

東京事務所では今年もブースを出展し、職員が集めたどんぐりなどの木の実、松ぼっくり、木の輪切りなどを自由に使用し、飾り物やミニリースを作製する「森林クラフト体験」を実施しました。両日ともに予想以上の人気で早い時間に定員に達し、終日参加者の笑顔が絶えず大盛況となりました。

今後も引き続きこのような取り組みを通じて、多くの都民の皆様は森林のすばらしさを感じていただけたらと思います。

なお、作製風景及び作品集は次ページ以降にもたくさん紹介していますのでご覧ください！



大盛況の東京事務所の体験コーナー



参加者の作製風景及び作品集①

「第42回木と暮らしのふれあい展」では 東京事務所のブースで多くの方に 森林クラフトを体験していただきありがとうございました。



参加者の作製風景及び作品集②



参加者の作製風景及び作品集③

